



平成 16年 12月期 第 1 四 半 期 財 務 情 報 (連 結)

平成 16年 4月 30日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社

上場取引所 東 札

コード番号 2501

本社所在都道府県

(URL <http://www.sapporoholdings.jp>)

東京都

代 表 者 役職名 取締役社長 氏名 岩間 辰志

問合せ先責任者 役職名 グループ経営戦略部長 氏名 持田 佳行 TEL (03) 5423 - 7209

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

(内容) その他有価証券については、3月末日現在の時価で評価しておりますが、減損処理は行っていません。

減価償却費については、年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 16年 12月期第 1 四半期の業績概要 (平成 16年 1月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

記載金額は百万円未満を切り捨てております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年12月期第 1 四半期	94,209	3.1	3,533		4,796		5,276	
15年12月期第 1 四半期	91,335		7,650		9,158		9,873	
(参考) 15年 12月期	479,520		13,330		6,788		2,412	

	1 株 当 たり 四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
16年12月期第 1 四半期	14.85			
15年12月期第 1 四半期	29.17			
(参考) 15年 12月期	6.95			

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年12月期第 1 四半期	609,872	82,125	13.5	231.09
15年12月期第 1 四半期	658,533	94,662	14.4	279.66
(参考) 15年 12月期	630,637	87,364	13.9	245.80

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年12月期第 1 四半期	7,891	3,262	18,461	15,743
15年12月期第 1 四半期	9,425	1,417	8,534	7,628
(参考) 15年 12月期	30,476	10,956	42,757	8,455

[参考]

平成 16年 1 2月期の中間期および通期業績予想につきましては、平成 16年 2月 20日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

添付資料

- ・ 四半期連結 (要約) 貸借対照表
- ・ 四半期連結 (要約) 損益計算書
- ・ 四半期連結剰余金計算書
- ・ 四半期連結 (要約) キャッシュ・フロー計算書
- ・ セグメント情報
- ・ 生産、受注及び販売の状況

平成16年12月期 第1四半期連結業績の概況

1. 第1四半期の概況

当第1四半期(平成16年1月1日から平成16年3月31日まで)の連結売上高は、酒類、飲料の売上数量が増加したことなどにより、942億円(前年同期比29億円、3%増)となりました。連結経常損益については、47億円の損失(前年同期比43億円増益)となりました。

各セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。

<酒類事業>

ビール事業では、ビールの前年割れが続き、発泡酒も昨年5月の増税により前年水準に達しないという厳しい市場環境下で、以下のマーケティング施策を展開しました。

「サッポロ生ビール黒ラベル」は、「祝ビール」という新しいキーメッセージを核に広告展開を行ない、またセパレシステムによる業務用樽生拡販策を積み重ねた結果、ビール総需要低迷に影響されながらも下げ幅を縮小し、売上数量は前年同期比91%となりました。

「エビスビール」はますます高いブランド評価を得て、前年水準を上回りました。更に昨年5月発売の「エビス<黒>」を加えると、売上数量は前年同期比117%となりました。

発泡酒では、協働契約栽培原料だけで製造した「麦100%生搾り」を「生搾り」のファミリーブランドとして投入しブランド構築を進めていますが、発泡酒総需要の低迷に加え、自社の新ジャンル商品の発売にも一時的に影響を受け、売上数量は前年同期比83%となりました。

新ジャンル商品として、麦芽も麦も使用しない次世代型アルコール飲料「サッポロ Draft One(ドラフトワン)」を、2月4日から全国発売しました。エンドウたんぱくを使用する新製法により実現した「かつてないスッキリ感」と「画期的新価格」が大好評を博し、3月末までに299万函を販売しました。この好調を受けて、当初の年間計画1,000万函を1,400万函に上方修正しました。

上記の結果、ビール・発泡酒・ドラフトワン合計の売上数量は、前年同期比106%となり、総需要が前年同期比約96%と低迷する中、大きく伸長を果たしました。

ワイン事業では、国産フラッグシップブランド「グランポレール」を中心に品質をアピールする一方、国産低価格帯商品としては「うれしいワイン」「クリアドライ」のダブルブランドが、この分野のトップシェア商品に成長しています。

輸入ワインは、米国「ベリンジャー」、フランス「ラ・キュベ・ミティーク」、チリ「サンタ・リタ」などのパワーブランドから、「直送直詰」方式の高品質・低価格ワインまでの幅広い品揃えで、積極的な営業を展開しています。

さらに、組織・人員面においても、ワイン事業部内にオペレーショングループを新設して

営業支援体制を強化するとともに、ワイン専門セールスも増員しています。

この結果、ワイン総需要の低迷が続く中で、国産・輸入ワイン合計の売上数量は前年同期比97%と総需要を上回っています。

以上の結果、酒類事業の売上高は664億円（前年同期比25億円、4%増）となりました。

< 飲料事業 >

飲料業界は、比較的天候に恵まれたこともあり、総需要は前年同期比約104%と推定されています。

このような中、事業基盤の更なる強化を目的として、「玉露入りお茶」をはじめとする基軸ブランドのリニューアルならびに新商品の投入など、積極的なマーケティングを展開しました。

「玉露入りお茶」は発売12年目を迎えたロングセラー商品です。当期はブランド価値の更なる向上を図るためデザインリニューアルを実施、同時に消費者向けクローズドキャンペーンである「日本の茶菓子、当たります。」キャンペーンを行ない、前年同期を上回る実績を残すことができました。

「玉露入りお茶」とならぶ基軸ブランドである「がぶ飲みシリーズ」についても、「がぶ飲みミルクコーヒー」「がぶ飲みメロンクリームソーダ」のデザインリニューアルを行ない、消費者向けキャンペーンを実施、好評を博しています。

新商品につきましては、お客様の本物志向にお応えできる高品質の商品として、サッポログループ発祥の地である北海道の牛乳をたっぷり使用した「北海道 釐沢ミルク&コーヒー」を発売し、売上実績の増加に貢献しています。

また、多様化、細分化する業務用ニーズに対応すべく、「玉露入りお茶」1L紙パックに続く専用商品として、「ウコン茶」1Lを発売いたしました。

以上の結果、飲料事業の売上数量は前年同期比103%となり、売上高は131億円（前年同期比4億円、3%増）となりました。

< 外食事業 >

外食業界は、2月のうるう年効果がありましたが、3月には前半の寒さや土・日・祝日が1日ずつ少ない曜日回りの影響があり、全体では回復感に乏しい基調が続いています。また、BSEや鳥インフルエンザ問題などにより、大きな影響を受けた業態もありました。

このような中で、「ビヤホールの復活」をテーマとする既存店の再活性化と、新規店や改装店による収益の拡大に取り組んできました。

既存店につきましては、首都圏のビヤホール業態店舗の前年割れに歯止めがかかり、基幹店であるライオン銀座七丁目店などが昨年9月以来7ヶ月連続の対前年売上増となりました。

また、新業態店舗「プライベートダイニング“点”（ともる）」や和食業態の「入母屋」、「かこいや」などの新規店、改装店も好調に推移しています。

前年度の店舗閉鎖による減収が1月から3月にかけてピークとなる一方で、本年度の増収策の柱である新規出店が4月以降となるため、外食事業の売上高は60億円（前年同期比1億円、2%減）となりました。

<不動産事業>

不動産業界では、オフィスビル、商業施設、マンション等の供給が増加し、依然厳しい環境が続いています。このような環境の中で、本年秋に開業10周年を迎える「恵比寿ガーデンプレイス」では、10周年イベントの第1弾として、フェルナンド・ボテロの野外彫刻展を開催しており、今後も様々なイベントを計画しています。「サッポロファクトリー」でも「昭和レトロ博」などのイベントを開催し、集客に努めています。

以上の結果、不動産事業の売上高は54億円（前年同期比1億円、3%増）となりました。

<その他の事業>

ホテル事業では、本年開業10周年を迎える「ウェスティンホテル東京」が、バラエティ豊かなプランやイベントを提案した結果、宿泊・レストラン部門の売上高は前年同期を上回ることができました。一方、宴会部門は受注件数が伸び悩んだことから売上高は前年同期を下回りました。

その他の事業の売上高は30億円（前年同期比0億円、1%減）となりました。

2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純損失が45億円（前年同期比54億円増益）となったこともあり、前年同期比で15億円支出が減少し、78億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の売却による収入が減少したことにより、前年同期比で18億円支出が増加し、32億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期借入金での調達を行ない、前年同期比で99億円収入が増加し、184億円の収入となりました。

なお、当第1四半期末では現金及び現金同等物の残高は157億円となりました。

第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末 (平16. 3.31現在)	前第1四半期末 (平15. 3.31現在)	増 減	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平15.12.31現在)
[資産の部]				
流動資産	115,432	103,197	12,235	134,534
現金及び預金	15,829	7,669	8,160	8,541
受取手形及び売掛金	53,687	51,133	2,553	73,281
たな卸資産	25,813	30,423	4,610	24,857
その他	20,340	14,135	6,204	28,147
貸倒引当金	237	163	73	292
固定資産	494,439	555,335	60,895	496,102
有形固定資産	426,173	485,866	59,692	429,811
無形固定資産	2,927	3,327	400	2,871
投資その他の資産	67,850	68,857	1,006	66,021
貸倒引当金	2,511	2,715	203	2,602
資産合計	609,872	658,533	48,660	630,637
[負債の部]				
流動負債	180,437	243,196	62,759	195,189
支払手形及び買掛金	28,735	30,818	2,083	31,215
短期借入金及び 1年内償還社債	64,672	125,806	61,134	39,149
未払酒税	22,475	21,583	892	43,692
その他	64,553	64,987	434	81,132
固定負債	347,289	315,925	31,363	348,060
社債	99,720	99,720	-	99,720
長期借入金	178,691	146,406	32,284	179,499
退職給付引当金	16,059	16,125	66	16,627
その他	52,818	53,673	855	52,213
負債合計	527,726	559,122	31,396	543,250
[少数株主持分]				
少数株主持分	21	4,748	4,726	22
[資本の部]				
資本金	43,831	43,831	-	43,831
資本剰余金	36,236	32,242	3,994	36,231
利益剰余金	2,100	18,714	20,815	4,953
其他有価証券評価差額金	4,748	163	4,584	2,895
為替換算調整勘定	368	201	167	349
自己株式	221	88	133	198
資本合計	82,125	94,662	12,537	87,364
負債、少数株主持分及び資本合計	609,872	658,533	48,660	630,637

第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 3.31まで〕	前第1四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 3.31まで〕	増 減	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔平15. 1. 1から 平15.12.31まで〕
売 上 高	94,209	91,335	2,873	479,520
売 上 原 価	67,295	67,920	625	338,573
売 上 総 利 益	26,914	23,415	3,499	140,947
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	30,447	31,065	618	127,616
営業利益又は営業損失()	3,533	7,650	4,117	13,330
営 業 外 収 益	384	390	5	1,871
受取利息及び配当金	117	121	3	705
補助金収入	-	129	129	214
持分法による投資利益	-	-	-	10
その他の	266	139	126	941
営 業 外 費 用	1,647	1,897	249	8,413
支 払 利 息	1,304	1,518	214	5,779
たな卸資産廃棄損	238	217	20	1,756
持分法による投資損失	51	67	15	-
その他の	53	93	40	877
経常利益又は 経常損失()	4,796	9,158	4,361	6,788
特 別 利 益	313	1,818	1,504	19,864
固定資産売却益	1	1,688	1,687	18,685
投資有価証券売却益	198	129	69	1,178
その他の	114	-	114	-
特 別 損 失	33	2,616	2,583	24,382
固定資産除却損	33	2,616	2,583	22,112
その他の	-	-	-	2,270
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	4,515	9,956	5,440	2,270
法人税、住民税及び事業税	35	163	127	1,836
法人税等調整額	726	85	811	1,409
少数株主損失	1	161	159	569
当 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 ()	5,276	9,873	4,596	2,412

第1四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 3.31まで〕	前第1四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 3.31まで〕	増 減	前連結会計年度の 要約連結剰余金計算書 〔平15. 1. 1から 平15.12.31まで〕
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	36,231	32,242	3,989	32,242
資本剰余金増加高	4	-	4	3,989
自己株式処分差益	4	-	4	-
株式交換に伴う新株式の発行	-	-	-	3,989
資本剰余金期末残高	36,236	32,242	3,994	36,231
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	4,953	30,280	25,327	30,280
利益剰余金増加高	-	-	-	2,441
当期純利益	-	-	-	2,412
新規連結に伴う増加高	-	-	-	28
利益剰余金減少高	7,054	11,566	4,511	27,768
配当金	1,777	1,692	84	1,692
連結子会社の合併に伴う減少高	-	-	-	26,076
四半期純損失	5,276	9,873	4,596	-
利益剰余金期末残高	2,100	18,714	20,815	4,953

第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 3.31まで〕	前第1四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 3.31まで〕	増 減	前連結会計年度の 要約連結 キャッシュ・フロー計算書 〔平15. 1. 1から 平15.12.31まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	4,515	9,956	5,440	2,270
減 価 償 却 費	6,295	7,413	1,117	28,434
退職給付引当金の増加(減少)額	568	159	727	661
貸倒引当金の減少額	145	485	340	474
受取利息及び受取配当金	117	121	3	705
支 払 利 息	1,304	1,518	214	5,779
売上債権の減少額	19,589	23,463	3,873	1,466
たな卸資産の増加(減少)額	957	1,421	463	4,161
仕入債務の減少額	2,474	6,514	4,039	6,198
未払酒税の増加額(減少)額	21,216	22,041	824	68
そ の 他	2,396	1,220	3,616	2,158
小 計	5,203	6,765	1,562	37,620
利息及び配当金の受取額	290	371	81	786
利息の支払額	1,262	2,611	1,348	7,202
法人税等の支払額	1,716	419	1,296	728
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,891	9,425	1,533	30,476
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出	43	2,254	2,210	2,370
投資有価証券の売却による収入	527	661	133	3,597
有形固定資産の取得による支出	2,936	2,060	875	8,424
有形固定資産の売却による収入	9	2,084	2,074	18,798
長期貸付金の実行による支出	520	12	507	143
長期貸付金の回収による収入	61	338	276	526
そ の 他	361	174	186	1,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,262	1,417	1,844	10,956
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増加(減少)額	27,611	22,716	4,895	14,585
長期借入れによる収入	6,000	700	5,300	59,050
長期借入金の返済による支出	8,896	7,786	1,110	52,399
社債の償還による支出	-	20,000	20,000	50,000
社債償還充当金の払出による収入	-	20,000	20,000	20,000
配当金の支払額	1,235	1,074	160	1,695
そ の 他	5,018	6,021	1,002	3,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,461	8,534	9,926	42,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	3	21	154
現金及び現金同等物の増加(減少)額	7,288	2,305	9,593	1,479
現金及び現金同等物の期首残高	8,455	9,933	1,478	9,933
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	1
現金及び現金同等物の期末残高	15,743	7,628	8,115	8,455

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期						平16. 1. 1から 平16. 3.31まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	66,477		13,192		6,013		5,449		3,076	94,209		-	94,209
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	519		36		-		1,263		6	1,826	(1,826)		-
計	66,997		13,228		6,013		6,713		3,082	96,036	(1,826)		94,209
営 業 費 用	70,607		13,850		6,347		5,261		3,140	99,206	(1,463)		97,743
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	3,610		621		333		1,452		57	3,170	(362)		3,533

(単位：百万円)

摘 要	前第1四半期						平15. 1. 1から 平15. 3.31まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	63,958		12,778		6,164		5,312		3,121	91,335		-	91,335
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,002		32		-		977		7	2,019	(2,019)		-
計	64,960		12,811		6,164		6,289		3,129	93,355	(2,019)		91,335
営 業 費 用	70,962		14,001		6,659		5,101		3,194	99,918	(931)		98,986
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	6,001		1,190		494		1,188		64	6,562	(1,087)		7,650

(単位：百万円)

摘 要	前連結会計年度						平15. 1. 1から 平15. 12.31まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	341,924		65,169		26,591		33,429		12,406	479,520		-	479,520
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,943		239		-		4,586		40	9,809	(9,809)		-
計	346,867		65,408		26,591		38,015		12,446	489,330	(9,809)		479,520
営 業 費 用	342,325		66,243		27,680		24,504		12,745	473,500	(7,310)		466,189
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	4,541		835		1,089		13,511		298	15,830	(2,499)		13,330

(注)

(1) 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒 類 事 業	ビール・発泡酒・ワイン・ウイスキー他・物流・プラント・アグリ
飲 料 事 業	飲料水
外 食 事 業	ビヤホール・レストラン
不 動 産 事 業	不動産賃貸・不動産販売・商業施設運営・ユーティリティ供給
そ の 他	ホテル等

(3) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第1四半期 1,016百万円、当第1四半期 395百万円であります。
前第1四半期は、平成15年7月1日の会社分割前の親会社本社の総務部門等管理部門に係わる費用であり、当第1四半期は分割後の親会社で発生した費用であります。

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

(単位：kl)

事業の種類別セグメントの名称	生産高	前期比(%)
酒類事業(ビール・発泡酒等)	188,986	+6.7
酒類事業(ワイン等)	4,524	+4.8
飲料事業(飲料)	7,157	15.4

2 受注実績

当グループでは受注生産を行っておりません。

3 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高	前期比(%)
酒類事業	66,477	+3.9
飲料事業	13,192	+3.2
外食事業	6,013	2.4
不動産事業	5,449	+2.6
その他の事業	3,076	1.5
計	94,209	+3.1